

ふれあい

第 66 号

社会福祉法人
三川町社会福祉協議会

〒997-1301
山形県東田川郡三川町大字横山字西田85-2
(三川町社会福祉センター内)
電 話 (0235) 66-4410 番



調理ボランティア

ふれあい弁当 ボランティア

ひとり暮らし高齢者の方へ、調理ボランティアさんがお弁当を作り、配達ボランティアさんが届けるサービスを月に2回実施しています。栄養バランスのとれた美味しいお弁当がとても喜ばれています。



配達
ボランティア



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分により発行しています。



平成27年度 社会福祉協議会 事業報告

共同募金配分金事業

- 筋力トレーニング教室
 - ・うさぎコース…毎月第2・4木曜日。全24回(登録者39名)
 - ・かめコース…毎月第1・4水曜日。全14回(登録者29名)
- ふれあい福祉まつり…10月18日(日)開催。
表彰・福祉作文発表・お楽しみオンステージ・記念講演
- ふるさと少年教室…年2回(夏・冬)開催。
児童延べ参加人数82名 協力者延べ人数58名
- ボランティア養成講座…年4回開催。(登録者12名)
- サロンキーパーソン研修会…年2回開催。延べ参加人数46名
- 高齢者作品展…10月16日～19日開催。出品数115作品



筋力トレーニングかめコース



ふるさと少年教室



元気教室



ミニサロン (合同サロン)

地域福祉事業(町からの受託事業)

- 給食サービス事業…毎月第2・4水曜日。配食延べ数703食(平均29食) 登録者38名
- ふれあい広場…毎月第1水曜日開催。
参加延べ人数380名(自由参加)
- 元気教室…6月～2月、第2・3水曜日開催。全15回
登録者34名 参加延べ人数514名
- 楽しく貯金塾…1クール6回教室。
登録者14名 参加延べ人数60名
- ミニサロン事業…町内10ヶ所で開催。福祉センターサロン1ヶ所
町内高齢者サロン9ヶ所
- 家族介護者のつどい…要介護度1～5の認定者を在宅で介護している
家族のリフレッシュ事業(年3回開催)
延べ参加人数40名
- 家族介護教室…介護に対する知識習得。参加人数10名
- ひとり暮らし高齢者会食交流会…年8回開催。参加延べ人数151名

社会福祉協議会が事務局を担当している団体

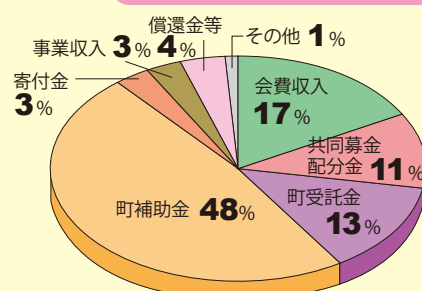
- 老人クラブ連合会
- 身体障害者福祉協会
- ボランティア連絡協議会
- 母子寡婦福祉会
- 手をつなぐ育成会

平成27年度

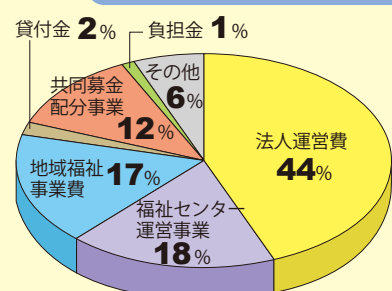
収支決算

※不足分は、前期繰越金を充用

収入の部 24,064,540円



支出の部 24,142,270円



平成28年度 社会福祉協議会 事業計画

本会では、地域住民を主体として、行政・町内会・民生委員児童委員等関係機関と連携・協働を図り「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向けて事業を展開してまいります。

重点項目

- 地域での見守り・支え合い活動の推進
- 相談・支援体制の強化
- 地域住民の憩いの場としての社会福祉センターの充実



基本計画

- 法人運営、基盤強化 …………… 本会事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための、行政や関係機関との連絡、調整を図り適切な運営を推進する。
- 地域福祉推進事業の展開 …………… ○ 地域ネットワーク活動の展開
地域における人々の共同体（コミュニティ）が、より活発に活動できるような取り組みを展開する。
- 福祉教育・ボランティア活動の推進
ボランティアセンターとしての機能を充実させるため、町民が積極的にボランティア活動に参加できるような研修事業や、ボランティア団体への活動支援等の事業を実施する。
- 福祉団体等組織の育成支援
町民の主体的、自主的運営による各種団体や組織に対する情報提供や事務的支援を展開し、活動の充実を図る。
- 第3期「地域福祉活動計画」策定事業
町が策定する「三川町地域福祉計画」を具体的に進めていくための活動計画を策定する。
- 在宅福祉サービスの展開 …………… 高齢化が進展する状況において、より健やかで安心して暮らせるように、見守り活動や健康を保つための支援を展開する。
- 障がい児者への支援事業の展開 …………… 障害児者の社会参加の促進とその家族が安心して生活できるように、相談・情報提供を行う。
- 母子・父子世帯への支援事業の展開 …………… 抱えている課題に対する情報提供や支援を行う。
- 生活支援活動の展開 …………… 日常生活での様々な問題に対する各種相談のほか、福祉資金の貸付相談や権利擁護のための支援活動などを展開する。
- 共同募金活動の展開 …………… ○ ふれあい福祉まつり 10月16日（日）開催予定
○ 赤い羽根共同募金運動の推進（10月1日～12月31日）
○ 歳末たすけあい運動の推進（12月1日～12月31日）
- 施設の適正管理 …………… 町民の社会福祉の拠点として、利用者の誰もが安心して利用できるように施設運営を行う。



押切中町 わくわくサロン

誰でも気軽に集まりにぎやかに楽しめる押切中町わくわくサロンが誕生して三年となり、町内会役員や民生委員の協力を得て、活動もようやく定着してまいりました。

多くの皆さんは時間前に集まり、ビデオのズンドコ体操に合わせて体を動かし、その日の活動に入ります。健康長寿の秘訣を聴いたり、ギター漫談で笑ったり、クリスマス飾りを作ったり、グラウンドゴルフや輪投げ



で体を動かしたり、オランダ煎餅工場を見学したり東北公益文科大学食堂で昼食を食べたりと、盛りだくさんの活動を楽しんでいきます。コーヒータイムや弁当を食べながらの、とりとめのないおしゃべりもお互いの交流を深め合い、仲間づくりの良い機会となっているようです。

皆さんによるこんでもらえる活動内容の充実や男性を仲間には誘うには？などの課題をかかえながらも、スタッフも一緒に「楽しくワクワクしようね！」を大切にこれからも続けていきたいと思えます。

(佐藤和子)

福祉センターをきれいにしていただきました

今年も日赤奉仕団つくしの会の皆様から、福祉センターの草むしりをしていただきました。

また、一人暮らし高齢者会食交流会の皆様からは、花植えをしていただき正面玄関をかわいなお花で華やかにしていただいております。



5/20(金) ひとり暮らし高齢者会食交流会

6/8(水)福祉センターを会場に、シルバー人材センターの剪定作業講習が行われました。会員の皆様の巧みな技術で、センターの大きく伸びきった松の木などがすっきりきれいになりました。



5/23(月) 日赤奉仕団つくしの会



ありがとうございました!



※よろしく願っています。

- 事務局長 菅原 和子 (三川町から派遣)
- 主事 石塚 智洋 (三川町健康福祉課に派遣)
- 主事補 松澤 透 (本年四月一日採用)
- 嘱託職員 大瀧 知子

今年度の 社会福祉協議会 職員体制

熊本・大分震災への義援金のお礼

社会福祉センターに設置しておりました熊本・大分震災支援の募金箱に、皆様からお寄せいただきました義援金の総額は**19,062円**となりましたことをご報告いたします。皆様の温かいお気持ちに感謝いたします。ご協力ありがとうございました。お預かりした義援金は、山形県共同募金会を通じ被災地に送金されます。

